

群馬県立しろがね特別支援学校 学校評価一覧表② (平成28年度版)

(様式2)

羅 針		盤			達成度			改善状況のまとめ	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		①	②	総合			
I 児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていきますか。	① 学校公開を年間3回以上実施し、来校者の90%以上が満足している。	A	A	A	○学習発表会、学校説明会、授業公開等、異なる形態で学校公開を年間3回以上行い、来校者から概ね良好な感想をいただいた。 ○学校だよりや学年通信を年間の計画に沿って定期的に発行し、保護者や地域に情報発信できた。各種学校行事の実施当日の様子をWebページに掲載することができた。 ○相手校と連絡を密に取り、本校の子どもにとっても相手校の子どもにとっても有意義な交流及び共同学習ができた。 ○保護者面談等で保護者の願いをよく聞き取り、共通理解のもとで策定することができた。 ○児童生徒が、クラス団結式、校外美化活動、他校との交流等をとおして、人間関係を深められるような活動や交流を行うことができた。また、生徒会役員が主体的にあいさつ運動に取り組むことができた。	○より多くの地域の方々に来校いただけるように、実施に向けての周知方法や公開の形態等を工夫していく。 ○幅広い年齢層の方にWebページを閲覧いただけるように画面構成を工夫し、本校に興味を持ってもらうようにする。年度始めの学校だよりにより本校のHPアドレスを掲載し、保護者等へ周知していく。 ○交流及び共同学習の成果について、相手校の担当者や管理職と確認し合い、次年度においても事前の話し合いを充実させる。 ○教員のアンケートをもとに、個別の支援計画策定委員会において、様式等の一部変更を行った。次年度に改めて検証していく。 ○各行事や交流等の反省を生かして、活動内容等の見直しを行ったり、児童生徒がより交流を深められるような場面について検討したりする。また、新生徒会役員にあいさつ運動の実施回数などについて意見交換をしたり、検討したりする機会を設定する。		
		② 学校だよりやWebページ等で情報発信を行い、「学校の様子がよく分かる」と保護者の90%以上が答えている。	A	A	A				
		③ 交流及び共同学習について、保護者の85%以上が子どもにとって有用であると感じている。	A	A	A				
	④ 「個別の教育支援計画」について、保護者の85%以上が有用であると感じている。	A	A	A					
	⑤ 児童生徒が他者との人間関係を深める機会を年間3回以上設け、保護者の90%以上が有用と感じている。	A	A	A					
II 地域の特別支援教育に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 幼稚園、小・中・高等学校等に在籍する障害のある児童生徒等の教育について、助言援助に努めていますか。	⑥ 地域の幼児児童生徒に対する相談を年間450件以上受けている。	B	A	A	○相談件数は1月現在で約600件である。対応方法については学級担任の対応だけでなく、学校全体で取り組めるようになってきた。 ○研修会や講演会後のアンケートでは、9割程度の参加者に好評価をいただいた。	○個への配慮だけでなく、学級経営、教科指導を中心に置いた対応の仕方を通常学級の教員や管理職にも広めていきたい。 ○相談先のコーディネーターが企画したロールプレイを参考にするなど、次年度は内容を工夫した講演会を実施していきたい。		
		⑦ 研修会や講演会を年間10回以上実施している。	B	A	A				
III 児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑧ こどもの学習状況や生活状況について、学園職員や保護者と確認する機会を年間3回以上設定している。	B	A	A	○各学期にケース会議及び保護者面談を実施し、さらに、夏季休業中には、家庭訪問を実施した。これにより、学園職員や保護者との話し合いを年間3回以上実施することができた。 ○連絡帳等をとおして、保護者や学園職員へ児童生徒の学校の様子をタイムリーに伝えることができた。90%以上の保護者から適切な情報が提供されていると答えていた。 ○「個別の指導計画」の目標の達成率について、2回の点検・評価では好評価を得ており、概ね個に応じた指導や支援が実践できていた。 ○「個別の指導計画」に基づいた指導結果について、保護者アンケートでは、2回とも好評価を得ており、概ね良好であった。	○各学期に1回、ケース会議および保護者面談を実施する。夏季休業中に家庭訪問を実施する。 ○今後も保護者や学園職員に対して、連絡帳を活用しながら児童生徒の毎日の学校の様子を伝えていく。また、必要に応じて電話連絡等も行う。 ○「個別の指導計画」の目標設定やその手立て、評価について、担任間、学年、学部で検討する機会を前期と後期にそれぞれ設定する。 ○「個別の指導計画」の目標設定やそれに関わる指導、評価等をケース会議、保護者面談、家庭訪問等で保護者や学園職員と話し合う機会を設定する。		
		⑨ 子どもの学校の様子について、学校からの情報提供が適切に行われていると保護者の85%以上が感じている。	A	A	A				
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑩ 「個別の指導計画」に掲げた目標の達成率が90%以上である。	A	B	B				
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑫ 健康上の配慮や対応について、保護者や学園職員との情報交換を年間3回以上実施している。	A	A	A	○ケース会議や家庭訪問などをとおして、児童生徒の健康に関する情報交換を年間3回以上実施できた。 ○1学期末のときの受診率が61%、3学期始めの受診率が69%と、「受診のおすすめ」や「保健だより」等での呼びかけによって受診率は向上したが、目標の数値には達しなかった。	○家庭訪問やケース会議の他、保護者が参加する行事等を活用して保護者と対話ができる機会を設定し、児童生徒の健康に関する情報を共有できるようにする。 ○眼科関係の受診率が低いので、目の疾病と健康の関係についても「保健だより」等で多めに触れ、受診率の向上を図る。		
		⑬ 健康診断終了後、異常が発見された児童生徒の受診率が80%以上である。	B	B	B				
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑭ 全教職員が緊急時対応訓練に年間3回以上参加し、具体的対応について、すべての職員が理解できている。	A	A	A	○児童生徒も参加しながら合同火災避難訓練や地震対応訓練が実施できた。児童生徒の参加が難しい不審者対応訓練については、職員がロールプレイを行うことで、実際に不審者が進入した場合の安全確保について確認することができた。 ○月1回の安全点検を受けて、学校内の危険箇所の修理や改修が迅速に行われた。	○危機管理週間に職員全体で「危機管理マニュアル」の確認と改善点を考える機会を設ける。 ○総合安全点検について広報し、保護者に校内環境への安心と更なる関心を啓発する。		
		⑮ 校内の教育環境について、保護者の85%以上が満足している。	A	A	A				
V 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	8 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して体系的な指導を行っていますか。	⑯ 発達段階に応じた進路指導を行うために、学部間での情報交換を年間3回以上行っている。	A	A	A	○キャリア教育の指導内容一覧を作成し、各発達段階において身に付けるべき指導内容について整理することができた。また、学習指導案にキャリア教育の観点を盛り込み、学部間で共有することができた。 ○PTAの施設見学会を前橋地域と伊勢崎地域の2カ所で開催し、参加した保護者からは概ね満足のいくものになった。今後は、見学地域を拡大していきたい。 ○毎月発行の進路だよりをとおして、進路に関する情報を保護者へ提供することができた。保護者アンケート結果でも概ね良好であった。	○児童生徒の実態を適切に把握しながら、キャリア教育を推進するために、関係する分掌や各学部が中心となって、系統立てられたものになるようにする。 ○保護者のニーズを把握しながら、進路に関する施設見学会等を拡大していく。校内における実施体制をしっかりと構築する。 ○保護者の満足度が100%に近づけるように一般や福祉、地域性なども考慮して積極的に進路情報を提供していく。		
		9 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑰ 進路関係の行事を年間3回以上実施し、進路に関する情報について、参加した保護者の85%以上が満足している。	B	B			B	
	⑱ 進路関係の配布物や学校から提供される進路指導に関する情報が役立っていると保護者の100%が感じている。		A	B	B				